

令和6(2024)年度日本歴史研究コース授業計画

授業名	民俗文化資料論			
担当教員	関沢まゆみ			
授業概要	民俗の伝承実態に関する資料論的研究。民俗伝承の分布論的偏差の問題や類型論的差異の問題について、民俗資料情報の分析を通して、その解読方法についての講述を行い、それに対する受講生の研究発表を中心にあらたな民俗資料論を展開させる。講義と演習。			
教育目標・目的	民俗の変遷論と伝承論について理解を深めることができる。 民俗伝承のとくに分布と時代差の解読について、比較研究法などの方法論を身につける。通過儀礼や民俗語彙などに関するデータの分析、教科書の内容理解を通して、民俗の伝承過程における時代差や地域差など、民俗資料情報をいかに解読できるのか、その方法論について学ぶ。			
成績評価	研究発表を中心に評価（100%）			
授業計画	1. はじめに。授業の進め方など	9. 比較研究法の活用例 4		
	2. 民俗の変遷論と伝承論 1	10. 高度経済成長と民俗の変化 1		
	3. 民俗の変遷論と伝承論 2	11. 高度経済成長と民俗の変化 2		
	4. 民俗の変遷論と伝承論 3	12. 高度経済成長と民俗の変化 3		
	5. 民俗の変遷論と伝承論 4	13. 高度経済成長と民俗の変化 4		
	6. 比較研究法の活用例 1	14. 民俗伝承の歴史的重層性		
	7. 比較研究法の活用例 2	15.まとめ		
	8. 比較研究法の活用例 3			
実施場所	講義室	使用言語	日本語	
前期・後期の別	前期	対象年次	3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	参考図書は必要に応じて指示する。			
備考				